

関西社会学会役員選出規則

1957年10月26日制定
1973年5月19日改正
1974年5月1日施行
1988年5月28日改正
2000年5月27日改正
2002年5月24日改正
2012年5月26日改正
2018年6月2日改正

1. 選挙によって選出される理事(以下、「選挙理事」と)と監事の選挙は、選挙権を有する会員の直接選挙によりこれを行う。
2. 選挙権ならびに被選挙権を有する者は、前年度までの会費を前年度末までに完納した会員に限る。
3. 役員の数数は次のとおりとする。
 - (1) 選挙理事の数数は15名とする。全地域を次の4地区に分け、各地区の会員数(選挙年の4月1日現在)に応じて按分する。
 - A 地区(富山県・石川県・福井県・岐阜県・三重県・愛知県以東)
 - B 地区(滋賀県・京都府)
 - C 地区(奈良県・和歌山県・大阪府)
 - D 地区(四国各県, 兵庫県以西)
 - (2) 監事は地区にかかわらず全地域より選出する。
 - (3) 会長が委嘱する理事(以下、「委嘱理事」)は4名以内とし、地区に関わりなく委嘱する。
4.
 - (1) 選挙理事および監事は、それぞれ1教育・研究機関につき1名をこえることはできない。
 - (2) 同一人が選挙理事と監事双方に選出された場合は、選挙理事として認め、監事には監事選挙の次点者を繰り上げる。
 - (3) 同一得票数の場合は年長順とする。
 - (4) 委嘱理事は1教育・研究機関につき1名をこえることはできない。
5. 投票は所定の投票用紙を用い、無記名で郵送により行う。
6. 選挙は選挙管理委員会の管理のもとに行う。選挙管理委員は4名とし、選挙の行われる年の最初の理事会の議を経て、会長がこれを委嘱する。
7. 選挙管理委員会は、選挙の実施に関し次の事項を審議する。
 - (1) 選挙人および被選挙人名簿の発送日、名簿への異議申し立て期間、投票用紙の発送日、投票締め切り日等の選挙の日程。
 - (2) 委員会は、役員選挙に関する日程を決定した場合は、関西社会学会ニュースへの記載その他の

方法により、全員にこれを周知させなければならない。

(3)選挙権および被選挙権の有無について会員の異議申し立てがあった場合には、委員会はその内容につき審議し、その結果を投票用紙発送の時点までに申し立てを行った会員に通知しなければならない。

8.投票は、締め切り日当日の消印のあるものまで有効とする。

9.この規則の改廃は、総会の議決により行うものとする。